

## 特色ある学習センター事業

### 蓬萊学習センター 少年教育事業 「ほうらい科学クラブ」

『身の回りの物を使った実験を通して、自然現象の面白さを体験し、みんなで楽しみながら「ふしぎ」を解き明かすことにより、科学の好きな子どもの育成を図る』ことを目的として活動する蓬萊学習センター少年教育事業「ほうらい科学クラブ」の取組みを紹介します。

#### 事業内容（平成21年度）

活動日	参加人数	活動内容	活動場所
11/28 土	13名	募集受付	学習センター分館
12/12 土	14名	開講式 自分だけのおもちゃを作って遊ぼう！	学習センター分館
1/ 9 土	13名	物が燃えると何がのこる？CO <sub>2</sub> を考えよう！	学習センター分館
2/ 6 土	15名	電気と物質？まか不思議な関係	学習センター分館
2/27 土	14名	みんなの「ふしぎ」を解き明かそう	学習センター分館
3/ 6 土	15名	移動学習（東京）	国立科学博物館・上野動物園・葛西臨海水族園

#### 組 織

##### ○参加児童

15名（小4年6名、小5年2名、小6年7名）

##### ○指 導 者

講師3名（福島大学理工学群教授・福島大学院生）

ボランティア2名（地域在住の方、ほうらい科学クラブOB高校生）

学習センター担当1名（生涯学習指導員）



## 活動の実際

開講式／自分だけのおもちゃを作って遊ぼう！

「ペーパーブーメラン」「ゴム動力車」作成



## 第2回活動 物が燃えると何がのこる？CO<sub>2</sub>を考えよう！



### I ものが燃えるという実験

～ 燃えているろうそくの炎を観察する ～

### II 火をつけずに熱くするとどうなる？

～ アルミはくに竹ひごをくるんであぶる ～

### III 燃えたあとには

何が残る？

～ あわの正体を

つきとめろ ～

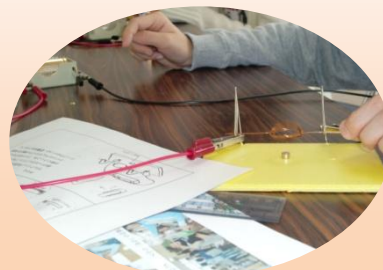


## 第3回活動 電気と物質？まか不思議な関係



エナメル線をボビンやパイプに巻きつけてコイルを作ったり、紙やすりでみがいたり、とても小さいのに、くつつくと、なかなかはがせないネオジウム磁石でクリップモーターやスピーカーを作ったり、生まれてはじめてはんだ付け(はんだごての先端は約400度!)をした

り、120分間、それこそ集中して製作・実験に打ち込んでいました。



## 第4回活動 みんなの「ふしぎ」を解き明かそう

### I ドライアイスが溶けると何になる？

⇒ドライアイスロケットを飛ばそう！

### II 氷の温度って、0度なの？

氷の結晶を見てみよう！？



### III 個体/液体/気体、 相変態(そうへんたい)のふしぎ、 まとめ

## 第5回活動 移動学習（東京）

### 移動教室 行程

福島【am7:10 集合】

↓ 新幹線

国立科学博物館

上野動物園

葛西臨海水族園

↓ 新幹線

福島【pm7:20 解散】



### 「ほうらい科学クラブ」の実践から学ぶこと

子どもたちの「科学離れ」が叫ばれているが、この「ほうらい科学クラブ」の参加児童は、興味をひく工夫された内容と講師の先生方の熱い思いで、のびのびと楽しみながら活動する姿を見せていました。学校では、なかなか体験できない活動を通して本当に「科学のふしぎ」「科学のおもしろさ」を味わったようです。

講師の方は蓬萊地域在住の方で「地域の子どもたちの力になりたい」という地域貢献に対する熱い、温かい心をもって取り組んでいただきました。このような「地域教育力」「地域の人的資源」を活用した取組みはたいへん重要であると考えます。

また、この「ほうらい科学クラブ」の実施にあたっては、サイエンスボランティアといったボランティアを同時に募集し、地域の在住者と高校生（ほうらい科学クラブOB）の2名の協力をいただきました。

このようなひとつひとつのつながりが、子どもたちの育成や地域づくりに結びついていくことを実感しています。

福島市蓬萊学習センター 福島市蓬萊町四丁目1番2号 TEL024-549-1821

福島市蓬萊学習センター分館 福島市蓬萊町四丁目1番1号 TEL024-549-1636